

第1号議案 医療的ケア児者支援部会の委員選定について

野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会設置要綱第7条第2項の規定により、委員の推薦に基づき市長が委嘱する部会委員及び職員のうち市長が任命した者

委員名簿(案)

	委員氏名	役職等	選出団体等
委員推薦	二宮 浩樹	医師	一般社団法人野田市医師会
	杉山 浩志	相談支援課長	東葛医療福祉センター光陽園
	白石 直美	管理者	野田市立あおい空
	宮 由花	技師	野田健康福祉センター
	中川 博子	養護教諭	千葉県立野田特別支援学校
	水沼 幸恵	出張所長 (看護師)	たんぽぽ訪問看護ステーション
	脇屋 春英	管理者	ハルちゃん Happy Smile
	矢野 祐子	会員	野田市肢体不自由児者父母の会 (野田市障がい者団体連絡会)
	並木 徹	センター長	野田市障がい者基幹相談支援センター
	副見 君雄	園長	野田市立あさひ育成園
坂 美雪	相談支援専門員	野田市立こだま学園	
市長任命	雨宮 和也	技師 (理学療法士)	野田市保健センター (子ども支援室)
	新井 嘉代子	校長	野田市小中学校校長会 (東部小学校)
	磯部 恵子	指導主事	野田市教育委員会指導課
	金安 佳子	主任主査 (看護師)	野田市保育課

第2号議案 各専門部会からの報告について

【相談支援部会】

	開催日	内 容
第1回	7/27	<p>新型コロナウイルスに伴う対応について、各委員が課題と感じていることなどの情報を共有しました。委員からは障害福祉サービス等利用計画書に本人のサインがもらえない場合どのように対応するかなどについて話し合われました。</p> <p>また、4月より運営が開始されている障がい者基幹相談支援センターの現在までの相談受付状況等について、円融会から報告がされました。</p>
第2回	11/17	<p>4月より運営が開始されている障がい者基幹相談支援センターの現在までの相談受付状況等について、円融会から報告がされました。</p> <p>また、困難ケース（障害支援区分を持たない者を保護する場合、介護者がコロナになった場合の障がい者本人への対応等）についての事例検討を行い、意見が交わされました。</p>
第3回 (書面開催)	1/28	<p>4月より運営が開始されている障がい者基幹相談支援センターの現在までの相談受付状況等について、書面報告を行いました。</p> <p>また、相談支援専門員の集いについて、従前は中核地域生活支援センターのだネットが各相談支援事業所を招集し、開催していましたが、12月からは野田市障がい者基幹相談支援センターが運営していることについて、書面報告を行いました。</p>

【権利擁護部会】

	開催日	内 容
第1回	7/28	<p>事業所の職員から、成年後見制度の内容が分からないという意見が多いことから、権利擁護部会と成年後見支援センターの共催で事業所向けに権利擁護研修を実施することについて意見交換を行い、各委員から賛同していただきました。</p> <p>また、障がいのある方への虐待の事例について事務局から報告を行い、最近の傾向について情報を共有しました。</p> <p>また、障がい者差別解消に向けた啓発活動として、野田市公式動画チャンネルを使用した周知活動及び4月の世界自閉症</p>

		啓発デー、発達障害啓発週間において、市職員が自閉症のシンボルカラーであるブルーのリボンを装着して業務に当たったことを事務局から報告しました。
第2回	11/6	<p>権利擁護部会と成年後見支援センターの共催で事業所向けに権利擁護研修を実施することについて、研修日程、申込方法、検収内容、配布資料等の検討を行いました。</p> <p>また、障がいのある方への虐待の事例について事務局から報告を行い、虐待受付体制や対応方法などの質疑があり、虐待の発生原因、対応の難しさや注意点などが話し合われました。</p>
第3回 (書面開催)	1/19	<p>権利擁護部会と成年後見支援センターの共催で事業所向けに12月16日に実施した権利擁護研修について、当日の内容、参加者等について、書面報告を行いました。</p> <p>また、障がい者差別解消に向けた周知活動として、「みんなで支えるバリアフリー」と題しての市報掲載、野田市手話言語条例の制定、新成人に対する啓発物資の配布を行っていることについて、書面報告を行いました。</p>

【子ども部会】

	開催日	内 容
第1回	7/17	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による臨時的対応として、利用者負担増加分や電話や訪問等の代替的サービスを受けた分の利用者負担を補助していること、更新支給決定の際の書類の省略を可能としていることについて、事務局より報告を行いました。</p> <p>また、障害者手帳等を所持していない児童が障害児通所支援の更新申請する際、毎年医療機関の診断書等の提出を求めていたところ、現状の課題解消及び保護者の負担軽減のため、3年に1度の提出に要件を見直そうとしていることについて事務局より報告し、各委員において意見が交わされました。委員からは、医師の判断を仰ぐ機会が減ることはデメリットだが、サービス受給のハードルを下げる点でメリットとなる等の意見が出されました。</p>
第2回	11/18	<p>障がい児通所支援の利用案内を新しく作成することについて報告し、現時点での案を配布しました。記載内容について、各委員に確認いただき、意見が交わされました。記載内容の一つであるサービス更新時の療育の必要性の確認方法の要件</p>

	開催日	内 容
		緩和について、医療機関受診の適切なタイミングを逃さないよう配慮してほしいなどの意見が出されました。
第3回 (書面開催)	2/4	障がい児通所支援の利用案内について、子ども支援室等の各関係機関に校正をいただいた後の最終案を配布し、確認していただきました。

【就労支援部会】

	開催日	内 容
第1回	7/27	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時的対応について事務局より報告を行い、在宅支援が認められる要件などについて話し合われました。 また、緊急事態宣言の発令に伴い、各事業所でどのような対応を行ったのか各委員で情報共有を行いました。
第2回	11/18	就労系サービスの利用者数について事務局から報告を行い、最近のサービスごとの傾向等の質問が委員からありました。 また、就労系サービスを希望する方向けに事業所の一覧表を作成することについて検討を行い、作成するにしても誰に向けた一覧表とするのかより検討が必要との意見がありました。 また、コロナ禍における各事業所への影響等について各委員により情報共有を行い、年度当初は工賃や取引先の減少、レストランの営業自粛等があったが、最近は回復傾向にあるなどの意見が出されました。
第3回 (書面開催)	1/27	就労継続支援事業所等における新型コロナウイルスへの対応について、厚生労働省通知を配布し、今一度確認していただきました。

【地域生活支援拠点等運営会議】

	開催日	内 容
第1回	8/28	令和2年4月から事業を開始した地域生活支援拠点の5つの機能について、現状報告と課題について協議を行いました。 相談機能について、障がい者基幹相談支援センターの相談受付状況等の報告があり、基幹相談支援センターが行う相談の役割として支援を終了するタイミング、次の支援に繋がらな

	開催日	内 容
		<p>いため見守り支援にならざるを得ない事例が多いとの課題が示され、今後、対応事例を積み重ね、多くの機関と連携しながら解決策の構築を図ることとしました。また、緊急時の受入機能について、障害支援区分の認定がない人を受け入れる事例があり、事業者に生じる費用の負担については市が助成制度を検討することとしました。</p> <p>その他の3つの機能については、会議時間の都合上、次回会議において継続協議事項としました。</p>
第2回	10/16	<p>地域生活支援拠点上半期の実績報告として、相談及び緊急対応・受入の実施件数及び具体的な事例の報告があり、事例の中で、市に対してしっかりとした横の連携を求める意見が出されました。</p> <p>千葉県が実施する重度強度行動障害支援システムの対象とする人選を行いました。</p> <p>前回の会議において継続協議とした令和2年4月以降の現状報告と課題の中で、専門人材の確保・育成について、権利擁護研修、相談支援員の集いの引き継ぎを行うことが報告されました。</p>
第3回	12/22	<p>令和3年度から野田市地域生活支援拠点等運営状況の評価を実施するに当たり、評価方法について協議を行い、市内の障害福祉サービス事業所等に地域生活支援拠点に関するアンケートを実施することとしました。</p> <p>今後の障がい者基幹相談支援センターの事業実施の参考とするため、実際の対応事例について意見交換を行い、特に対応困難な事例について市の関わり方について、検討を求める意見が出されました。</p>